



情報処理技術者試験に合格した 県立高校生に図書カードを贈呈!

2月28日(火)、三重県コンピュータ業協同組合(小柴眞治理事長)は、IT(情報技術)分野の人材育成として、コンピュータ業界の未来を担う高校生のうち国家試験である情報処理技術者試験のスキルレベル2以上(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等)に合格し、平成29年3月に三重県立高等学校各校を卒業する生徒44名に、お祝いとして図書カードを贈呈しました。

7年目となる今回は、小柴理事長が三重県立松阪商業高等学校を訪問して河北冠校長に目録を、7名の代表生徒ひとりひとりに図書カードを手渡し、「大変難しい試験に合格された皆さんが、今後、さらにスキルアップして社会で活躍されることを期待しています。」とエールを送りました。



小柴理事長(前列中央)河北校長(前列左から2人目)

「お伊勢さん菓子博2017」を開催!

4月21日(金)～5月21日(日)、三重県営サンアリーナ及びその周辺で第27回全国菓子大博覧会・三重「お伊勢さん菓子博2017」が盛大に開催され、全国から584,100人の方々が訪れました。

三重県菓子工業組合(岡幸男理事長)の組合員である和洋菓子職人110名が匠の技を集結して製作した巨大工芸菓子「宮川の渡し」や全国の菓子職人が伝統の技を駆使して、しょうぶ、ぼたんなどの花、鷹や鷲、フクロウといった鳥類のほか、伊勢エビやウサギ、野菜などを製作した工芸菓子に多くの来場者がじっくりと鑑賞し感嘆の声をあげていました。

また、全国の特徴あるお菓子を集めた「全国お菓子夢の市」、大手お菓子メーカーによる出展、三重のグルメを味わうことができるフードコートなどが設置され、多くの来場者で賑わっていました。閉幕後、三重県菓子工業組合の岡理事長に現在の心境を伺うと、「長期にわたり準備を重ねてきて、今は、ほっと一息といった感じです。今回の菓子博開催を通じて、若い世代や今後開催される方々には、組合組織の大切さや、皆さんの知恵を結集してできた流通形態、バリアフリーへの取り組みなど様々なことを伝えていきたい。来場者を含め、関わっていただいた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。」と話されました。



巨大工芸菓子「宮川の渡し」



「お菓子の匠工芸館」での組合員による作品